



「フェーズフリー」

知っていますか？

近年日本の様々なところで地震などの災害が起こっています。世界でも有数の災害大国である日本ですので、もちろん皆さんの防災意識は高まっているのですが、「何をどのくらい備えれば良いの?」「防災って難しい」という声も届きます。それでも「大切な人の命は絶対に守りたい」、私自身も市長として「市民の命を絶対に守りたい!」その想いをカタチにするために「フェーズフリー」の意識を高める取り組みを重点政策としています。

皆さんは、「もしも」の時のためにどのような準備をされていますか?防災リュックの中には一度も使ったことのないものや、食べたことのないものなど入っていませんか?それは、「もしも」の時に本当にあなたの命を救うものになるのでしょうか?

「いつも」使っているモノやサービスを「もしも」の時にも活用するという考え方が「フェーズフリー」です。

防災用品と言われているものほとんどが、非常事態の時にのみ使うために用意されているものです。しかしフェーズフリーの意識をもって用意したものは違います。「いつも」活用しているモノ、普

段の生活にあるモノを「もしも」の時にも利用していくというものです。

この考えをもっているだけで、備蓄のためのコストも置き場も少なくて済みます。

例えば、飲料水、カップ麺、レトルト食品、バランス栄養食、ティッシュ、生活用品、おむつなどを箱買いし、日常的に使用し、減った分だけ買い足し、ストックしながら生活していれば非常時でも安心です。

あるいは、一年に何度かキャンプをしたり、BBQなどをすると、キャンプ用品(テント、ランタン、寝袋、カセットコンロ、ポータブル充電器など)や野外での調理などが被災した時にも役立ちます。

さらに、ハイブリッド車やPHEVなどの電気自動車を利用していれば、災害時にはモーターやバッテリーを電源として活用できますし、携帯電話などのモバイルバッテリーは常に充電できているものを持ち運ぶことも大切です。

まだまだ意識をすれば、あれもこれもといてざというときにも活用できるものがあると思います。皆さんも「これ」というものなどあればぜひ教えてください。

まずはできることから! 「いつも」の行動で「もしも」の備えを一緒にしていきましょう!

市長メッセージ動画も
配信中!



災害 そのとき どうなるの??

洪水、台風時の避難所について

問 危機管理課危機管理係 ☎95-9874

▼水害発生時の避難所開設

洪水や台風による水害発生時、避難所は原則として避難情報(高齢者等避難、避難指示など)発令時のみ開設します。避難情報発令前に避難する場合は、親戚・知人宅などへの自主避難を考え、日頃から依頼しておきましょう。なお、避難所を開設した場合は、以下の方法で開設情報を提供します。

※市が避難所に用意している備蓄品は、南海トラフ地震などの大規模災害に備えたものです。そのため、一晩で大きな被害なく通り過ぎる台風などにおいては、市の備蓄品は原則配布しません。必要なものは自分で持参して避難してください。

▼避難所の開設情報

ホームページ、市LINE公式アカウント、へきなん防災メール、ケーブルテレビKATCH、Pitch FM(83.8MHz)などで発信します。

※携帯電話などを持っていない人を対象に、固定電話に防災情報を配信するサービスも実施しています。詳しくは危機管理課地域防災係(☎95-9875)へ問い合わせてください。

▼市LINE公式アカウントを追加・登録してください

市からの防災情報を、市LINE公式アカウントで受け取れます。

①友だち追加をしてください。

2次元
コード
から



②メインメニューの受信設定を選択し、防災情報受信設定【推奨】から登録してください。設定はいつでも、何回でも変更できます。

※基本受信設定【必須】も含め、受信設定しないと緊急情報以外は配信されません。